

2027 年 4 月採用 実務従事者募集要項

1. 設置者・所在地	社会福祉法人宮崎県社会福祉事業団 宮崎県宮崎市原町 2-22
2. 業務を行う施設 (所在地)	宮崎県中央発達障害者支援センター（宮崎市） 都城発達障害者支援センター（都城市） 延岡発達障害者支援センター（延岡市） 宮崎県内 10 カ所に障害児者施設、児童養護施設等、児童から高齢者までの福祉施設及び施設内診療所を展開する社会福祉法人のもと、3 カ所の発達障害者支援センターを中心にプログラムを実施する。
3. 施設の長・プログラムの実施責任者	ひまわり学園長・宮崎県発達障害者支援センター総括 小野公治
4. 指導担当者・指導協力者	〈指導担当者〉 <u>発達障害者支援センター心理士</u> 伊森 公彦（公認心理師 臨床心理士） 鮫島奈緒美（公認心理師 臨床心理士） 山口美千代（公認心理師 臨床発達心理士） 稲澤 香（公認心理師 臨床心理士） 矢野美保子（公認心理師 教員免許） 数 由都（公認心理師） 大野 麻衣（児童指導員資格） <u>宮崎市総合発達支援センター心理士</u> 伊東 美和（公認心理師） 〈指導協力者〉 <u>発達障害者支援センター</u> 小野 公治（統括、社会福祉士 精神保健福祉士） 弓削真一郎（中央発達障害者支援センター長、社会福祉主事） <u>知的障害者総合福祉施設向陽の里</u> 水野 敦之（副参事兼発達障害者支援センター地域支援マネージャー、教員免許） 赤松 馨（向陽の里診療所医師、精神科医、児童精神科医） 他
5. 開始日・期間	2027 年 4 月 1 日より 2 年 6 か月
6. プログラムの特徴	発達障害者支援センター(以下、当センターと記載)は、発達障害を有する方々や、その家族、及びすべての関係者が、地域の中で安心した生活ができることを目指している。支援内容としては、発達障害児・者及びその家族等からの相談に応じ、適切な指導・助言及び必要な福祉情報の提供を行う。また、心理に関する支援を必要とする発達障害及びその疑いのある者(児・者)に対し、心理学に関する専門的知識及び技術をもってカウンセ

	リングを行い、必要に応じ心理教育を行う。並びに医療機関等との連携により、観察、心理検査、その結果の分析等の直接的支援やニーズや相談内容に応じ柔軟的対応による支援のコーディネートを行う。また、地域支援として関係者に対し、心の健康に関する知識の教育及び情報の提供等の間接支援を行う。 当センターにおけるプログラムは、実務従事者が大学で修了した内容と合わせて、公認心理師カリキュラム等検討委員会で整理された到達目標を達成できるように構成した。これまで培っている医療・保健・教育の関係機関との連携体制も活用できる支援体制の中で、専門性と実践力の高い公認心理師養成を目標とする。 具体的な内容としては業務を行う施設内の福祉分野の実務経験として妥当なものを選択した〔心理実践実習〕に加え、他分野の〔見学・実習〕として、関係機関連携のもと、『医療・保健』『教育』の2分野を設定し、個人または、集団、地域を対象とした心理に関する支援を実践的に学べる構成としている。 また、大学院における〔心理実践科目（9科目）〕に対応する講義演習を148.5時間受講する。講師として日々の業務で実務経験を積んでいる公認心理師を中心に多職種が関わる。特に技術の習得に関するものについては、座学のみでなく演習時間を組み入れることでより実践的な知識や技術の習得を目指せるよう工夫する。また上記講義内容を補てんし、より知見を深められるよう〔放送大学(修士選科生)〕において、「臨床心理特論」「司法矯正・犯罪心理学特論」「臨床心理地域援助特論」「保健医療心理学特論」の4科目を履修できる。それに掛かる入学金、各科目1度目の履修の費用は事業所負担（再履修の場合は自己負担）とし、勤務時間内の受講は勤務扱いできるように設定することで、資格取得に専念できる環境を整えている。
7.選考方法	募集定員： 2 名 応募条件： 1971 年（昭和 46 年）4 月 2 日以降に生まれた者で、公認心理師試験区分 B（4 年制大学において所定の 25 科目を修めている、修める予定の者）または公認心理師試験区分 F（2017 年 9 月 15 日以前に 4 年制大学において所定の 12 科目を修めている者）に該当する者 ・資格取得後働きたい分野が福祉分野以外であることが選考上不利益となることはありませんが、当センターでの実務は乳幼児から成人までの要支援者に関わる福祉分野の業務となることを考慮し、ご検討ください。 ・地域の特性上、地域支援においては公用車を使用します。 ・初年度は原則として中央発達障害者支援センターでの実務従事、研修となりますが、都城・延岡発達障害者支援センターへの配属、異動の可能性もあります。

選考の流れ： 1) 書類選考（応募書類を用いた審査）
2) 二次選考（筆記試験、面接）※書類選考通過者のみ

1) 書類選考（応募書類の提出や選考結果の通知について）

☐ 必要書類

- ① 履歴書
- ② 職務経歴書（職歴がある場合のみ）
- ③ 科目履修証明書（在学時に履修した科目全ての証明）※1
- ④ 卒業証明書
- ⑤ 小論文（テーマ「私の目指す公認心理師」）※2

※1 科目の読み替えが必要な場合は、可能な限り提出してください。

提出が不能な場合は、卒業した大学に受験資格を満たしているかを事前に確認し、その確認を取ったことが分かる書類又は、任意の自己申告書類を提出してください。募集期間中に書類の提出が難しい場合は事前にご相談ください。

※2 当法人の本プログラムへの応募に至るまでの経緯やその動機、公認心理師としてのキャリアイメージ、目指す姿を含めた内容について 800 字～1000 字以内で論じてください。

☐ 提出方法

- ・ 封筒表面に実務従事者応募書類在中と朱書きした上で、必要書類を簡易書留で、当センター宛て（下記）に郵送
- ・ 住所：〒889-1601 宮崎県宮崎市清武町木原 4257-7
（ひまわり学園内）宮崎県中央発達障害者支援センター

☐ 提出期限 2026 年 9 月 30 日（水）必着

☐ 選考結果発表 2026 年 10 月 9 日（金）※二次選考の案内とともにメールで個別に通知します。

2) 二次選考

☐ 選考方法

① 筆記試験（記述問題、以下の i～v より 1 問ずつ）

- i) 公認心理師の職責に含まれる事項
- ii) 心理学統計法、心理的アセスメントに含まれる事項
- iii) 発達心理学、障害者（児）心理学に含まれる事項
- iv) 心理学支援法に含まれる事項
- v) 関係行政論、地域支援、多職種連携に関係する事項

② 個人面接

③ 集団面接（ロールプレイ）

大学における「心理演習」において学ぶ「心理に関する支援を要する者等に関する知識及び技能の基本的な水準」の修得を確認するもの

	☐ 選 考 日 程 2026 年 11 月 23 日(月)祝日 ☐ 選考結果発表 2026 年 12 月 1 日(火) ※メールで個別に通知後、合格者に採用書類も併せて郵送します
8. 雇用条件等	☐ 雇用形態 ： 常勤採用(嘱託職員) 希望があれば2年6ヶ月のプログラム終了後、令和12年3月までの雇用を保障します ☐ 賃 金 ： 月 額 230,200円～ ※その他 賞与あり 諸手当別途(資格手当、通勤手当等) ☐ 始業・就業の時刻： 基本 8時30分から17時15分 ☐ 休日 ： 土日、国民の祝日 ☐ 休暇 ： 年次有給休暇 有 ☐ 健康診断・ストレスチェック ： 年1回 ☐ その他 就業規則による
9. 問い合わせ先	〒 889-1601 宮崎市清武町木原 4257-7(ひまわり学園内) 宮崎県中央発達障害者支援センター メールアドレス： a-center@m-sj.or.jp ※お問い合わせは、上記のアドレス宛でのメールよりお願い致します。電話やファックスでのお問い合わせはご遠慮ください。 ※お問い合わせへの返答につきましては、電話にてご連絡をする場合もありますので、氏名、電話番号、メールアドレスを記載してください。 ※業務を行う施設への見学希望も承ります。